ひなどり

園だより２月号
令和６年１月２９日
新潟市立新津第三幼稚園

「追い出したい鬼は？」

園長　　川合　千尋

「鬼は外，福は内！」，節分の豆まきの行事では，よく子どもたちに「自分の中で追い出したい鬼」のことについて聞きます。「泣き虫鬼」－ちょっとしたことですぐに泣いてしまう弱い心かな？「怒りんぼ鬼」－我慢できずにすぐに怒りを爆発してしまう短気な心かな？「なまけ鬼」－すぐにやる気をなくしてしまう気分屋の心かな？

こうしてみてみるとすべて心をコントロールする力に関係しているようです。節分という機会に，子どもたちにしっかりと自分の心をコントロールする力を身に付けてほしいという願いからそうした働きかけをしているのでしょう。子どもたちも「自分の中で追い出したい鬼」を意識することで，自分自身の心のコントロールをしようと気を付けるようになります。

私自身も振り返ってみますと，すべての鬼が心に渦巻いているようで，いかにその心をコントロールすることが難しいか日々身につまされております。それでも立場上，平静を保つ必要場面が多いのでなんとか心をコントロールしようと努力をしています。そんな時に，頼りになるのが傍にいる人です。家庭においては家内や両親であったり，職場においては，職員の方々であったり，そうした人々の顔を見るだけで気持ちが落ち着き，自分の心をコントロールすることができるようになります。

第三幼稚園の子どもたちも「追い出したい鬼」を追い出すためには，きっと家族の皆様や職員の力が必要なことは間違いありません。日々の生活の中で，子どもたちはいろいろな場面で感情が大きく動き，コントロールできなくなることが多々あります。そんな時，傍にいる人の一言であったり，笑顔であったりが，子どもたちが自分の心をコントロールできる大きな助けになります。また，その積み重ねが，心のコントロールをする力を育みます。